

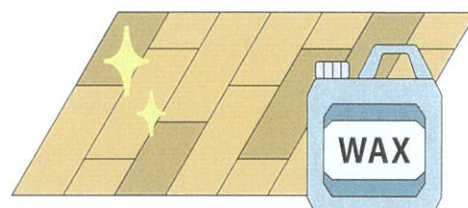
日常のお手入れ

長くきれいにお使い頂くための4つのポイント



1 掃除機やモップで美しく

日常のお手入れはゴミやホコリを掃除機などで取り除き、乾いた布やモップで乾拭きしてください。
ひどい汚れについてはホームクリン(P94参照)で拭き取ってください。



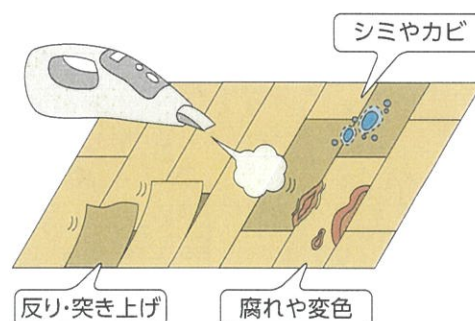
2 季節に一度のワックスがけ

ワックスがけは3ヶ月に一回を目安にかけられると美しさが長持ちします。
推奨ワックス:ユカコート(P94参照)
※自然塗装の場合は、使用する自然塗料の使用要項に従って、お手入れを行ってください。



3 水濡れは避ける

濡れ雑巾は使用しないでください。表面のひび割れなどの様々な原因になります。また、常時水のかかる恐れのある台所、洗面所などでは水切りマットをご使用ください。
水に濡れたまま長時間放置されますと、ひび割れや変色、シミなど様々な原因となりますので、速やかに拭き取ってください。



4 スチームクリーナーは使わずに

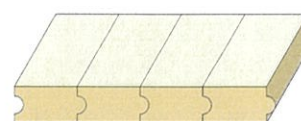
スチームクリーナーは絶対に使用しないでください。
床壁材の継ぎ目や、塗装面のキズ、無塗装品の表面などから蒸気が侵入し、シミやカビの発生、腐れ、変色、反り、突き上げなどの様々な原因になります。

自然木だから起きること…

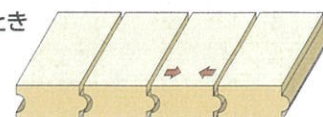
床鳴りについて

床鳴りは音の程度にもよりますが、無垢床材特有の継ぎ目部分がずれて音が発生していることが考えられます。これは木の性質としての調湿機能が働き、伸び縮みを生じることによって発生するもので、やむを得ない現象です。商品の性能や使用上特に問題ありません。その他、水をこぼして長時間放置した場合や水気の多いお手入れをされた場合などでも起こりますので、正しいお手入れをお願いします。

湿気が多いとき



湿気が少ないとき



補修の仕方

床、壁を傷付けたり、汚してしまったら…

物を落としたり引きずったりして傷を付けてしまった場合は

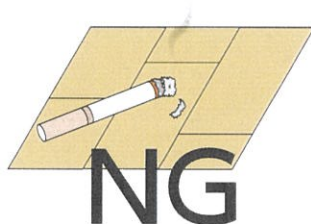
軽い傷は、床壁材用補修カラーや、補修液（ホームセンターなどの市販品）を傷部分に塗ってください。

※傷付いた床壁材をそのままにしておくと傷口から湿気や汚れが入り、傷口が拡大したり汚れが取れなくなる可能性があります。傷を付けてしまったり傷に気が付いたら、速やかにメンテナンスをお願いします。



火の付いたタバコなどを落として焦がした場合は

タバコやアイロンの焦げ跡は一度付くと取れません。充分に注意しましょう。また、タバコの黄色いやニは、アルコールを含ませた布で拭き取ってください。



洗剤や灯油、コーヒーなどをこぼしてしまった場合は

薬品、洗剤、コーヒー、醤油などをこぼした場合はすぐに拭き取りましょう。時間が経つとシミになって取れなくなる場合があります。



靴墨や毛染剤などで着色汚れをつけた場合は

靴墨や毛染剤、除光液、家庭用パーマ液などによる汚れはすぐに拭き取ってください。放置しておくと取れなくなります。作業を始める前に、直接液体がこぼれても床壁材に影響を及ぼさない工夫をお願いします。



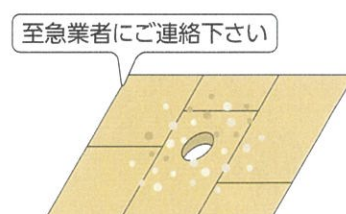
お子様の落書きやインクをこぼした場合は

クレヨン、マジック、水性インクなどが付着した場合は、アルコールまたはシミ抜き用ベンジンを含ませた布で軽く速やかに拭き取りましょう。



小さな穴があいて木の粉が出てきた場合は

外部から木部に飛来してきた虫による虫害の可能性があります。万一発生した場合、殺虫剤にて処置をお願いします。また、速やかに専門業者に相談されることをお勧めします。

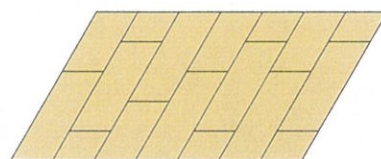


**再塗装や補修工事などは、
お施主様ご自身で絶対にしないでください。**

高所作業などによる落下事故やけがの原因となりますので、再塗装や補修工事などは施工業者様にご依頼ください。

色のばらつき、日焼けについて

自然木は人と同様生き物であり、同じ樹種でも一本一本個性があります。色調についてもばらつくのが普通であり同じにはなりません。また、お使いいただいている間に日光（紫外線）などによって徐々に色が変わることがありますが、これも自然木特有の性質です。



自然木ならではの個性です